

向井章恵 (MUKAI, Akie)

主任研究員 博士(緑地環境科学)

2000 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科 修了

2001 独立行政法人 農業工学研究所 採用 水工部

2011 農研機構 近畿中国四国農業研究センター

傾斜地園芸研究領域

2016 水利工学研究領域 施設水理ユニット



研究者の横顔

<自己紹介>

大阪府大阪市生まれ。大学院修了まで、関西私鉄ヒエラルキーの下位に位置する(と思われがちな)南海沿線で生活していました。就職してつくば市民になり 10 年、異動して香川県善通寺市民になり 5 年、そして今年からまたつくば市民になりました。

<研究テーマ>

農業水利施設の水と土砂の流れを研究しています。

研究所に入って最初のテーマは、排水路に水制を設置して砂州を創り、生物が生息できる環境にするというものでした。模型実験を行った後、現地排水路で実証試験を行いました。現地では何度か大きな出水があり、その規模に応じて変化する砂州地形は、流せる流量に制限がある実験では見られないもので、現地観測の面白さを認識しました。近農研では、園地整備済みのカンキツ園からの土砂流出量を予測することをテーマにしました。現地で園主さんから「(山を切り盛りして圃場を造成すると)水はどれくらい出る?」「沈砂池の大きさはどう決める?」という質問を受け、適切な回答ができなかったことから、とにかく現場でじっくり土砂流出を観測してみようと思ったのがきっかけでした。今年からは、農業用ダムの堆砂問題について研究を始めました。堆砂の大元である流域での土砂生産に興味があるのですが、どうやって観測すべきか思案中です。



排水路にて水制設置中

<ゆるキャラと>

研究所のイベントがあると、ゆるキャラを作ってしまうがちです。

水工部(水利工学研究領域の前々身)在籍時、水滴をモチーフとした「スイコーくん」を作りました。スイコーくんは現在活動休止中ですが、スイリくんとして復活するかもしれません。

近農研では、裸麦をモチーフとした「はだかむぎくん」を作りました。はだかむぎくんはフィギュアにもなり、現在も活動中です。フィギュア製作にあたって、作物研究所(当時)の担当者からパンツを履かせたいという打診があったのですが、「麦であって断じて裸ではない」「パンツを履くと裸麦のミルキー感が薄れる」と反論したところ、履いていないフィギュアも製作していただくことができました。ただ、残念なことに、このフィギュアは広報活動時に紙のパンツを履くことが義務づけられているようです。



はだかむぎくんとフィギュア